

パイプシステム通信

No.28

2026年1月 (隔月発行)

新春の候、寒さが一段と厳しくなるこの頃、いかがお過ごしでしょうか。本年も変わらぬご愛顧をいただけますよう、心からお願い申し上げます。

2026年の干支は「丙午(ひのえうま)」です。「丙」は陽の火を意味し、「午」は火の性質を持つ十二支で、方角では南、季節では夏を表します。つまり、丙午は「火+火」の組合せで、とても力強いエネルギーに満ちた一年になるといわれています。

炎の勢いと午のスピードで、皆さまの夢が大きく実を結ぶ年になりますようお祈り申し上げます。

パイプシステム通信 編集部

動画のご紹介

弊社ホームページでは、2025広島水道展で放映した「クボタがつなぐ、未来の水道」をテーマに、4つの未来の水道の実現に向けた取組を紹介する動画を公開しています。

弊社が目指す未来の水道のイメージをぜひご覧ください。

【動画のご紹介ページ】
<https://www.kubota.co.jp/product/ironpipe/products/movie/>

ココに注目! GX形ダクトイル鉄管 呼び径700・800販売開始

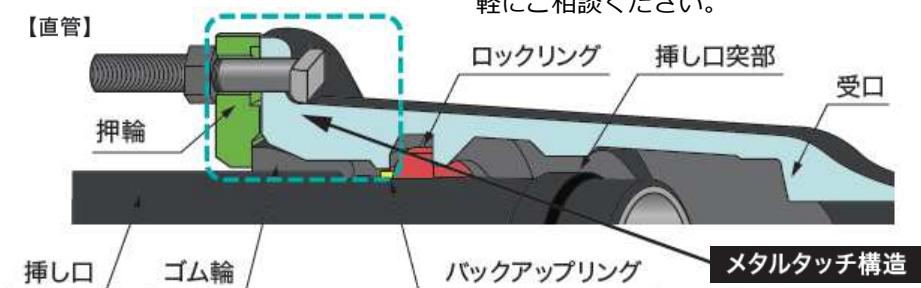
GX形ダクトイル鉄管の呼び径500・600に加えて、2026年1月から呼び径700・800の販売を開始しました。GX形ダクトイル鉄管(呼び径500~1000)は、日本ダクトイル鉄管協会の規格品です。

本製品は、NS形管と同等の耐震性能を確保しながら、メタルタッチ構造を採用することで押輪～受口端面の間隔管理が不要となり、さらに、ボルト本数が半分以下に削減され、施工性が大幅に向上了います。また、管下ボルトレス構造により管下作業が不要と

なったため、施工が容易になり、接合時間も大幅に短縮されます。

呼び径500・600は昨年より多くの事業体にご採用いただき、施工性の向上、施工時間短縮、作業負担軽減等について大変ご好評をいただいております。今回追加された呼び径700・800についても、基幹管路の耐震化促進に貢献できる製品ですので、ぜひご採用をご検討ください。

本製品にご興味がございましたら、ぜひ弊社営業担当までお問合せください。接合講習会の開催についてもお気軽にご相談ください。



水道給水用高密度ポリエチレン管採用

at 岐阜県七宗町

七宗町では、従来品より耐震性能に優れた「水道給水用高密度ポリエチレン管」を採用しています。

この管は従来の1種二層管と比較して、高密度ポリエチレン原材料を使用しているため管体強度が高く、さらに、分水栓を含めてEF接合を採用することで管と継手が一体化し、地震に強い給水管路を構築することができます。

近年の地震では、給水管の破損による宅内漏水や、止水栓が倒壊家屋の下敷きとなり水を止められないという事象が発生しました。こうした状況を踏まえ、水道事業体としては配水管のみならず給水管の耐震化も喫緊の課題となっています。

また、災害時に限らず、万一漏水が発生した場合でも従来の金属継手を用いて補修できる点は、維持管理の面からも大きな利点です。

七宗町は、地域住民の皆さまが災害時にも安心して生活できるよう、安全で信頼性の高い水道サービスの提供に今後も努めてまいります。



県議会議員によるクボタ技術視察

2025年9月4日、三重県議会防災県土整備企業常任委員会様がクボタ九州支社を、11月19日には愛知県議会安全・安心対策特別委員会様がクボタ東京本社を訪問され、「AIを活用した管路老朽度評価・更新計画策定支援システム」について視察されました。三重県議会防災県土整備企業常任委員会様からいただいたお声をご紹介します。

当委員会は、三重県の防災対策部、県土整備部、企業庁を所管しており、危機管理・防災対策の推進、公共土木施設の整備・維持管理、都市計画・住宅・その他土木行政の推進、公営企業の運営などについて、審査・調査を行っています。

今年度、委員会では重点的に調査する項目の一つとして「水道・工業用水道・下水道施設の老朽化対策」を設定し、このことについて議論を深めるため、9月に実施した県外調査において株式会社クボタの九州支社を訪問しました。

全国で水道管路等の老朽化による事故が多発する中、「AI技術を活用した水道管路老朽度診断」や「水道管路の更新計画策定支援」についてお話を伺い、意見交換することができ、大変有意義な時間となりました。

今回得られた知見は、委員会での議論や調査にしっかりと活かしていきたいと考えています。

<三重県議会 防災県土整備企業常任委員会>